

KENWOOD

ナビゲーションシステム

HDZ-2500iS HDZ-2570iTS

取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取付説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



目次

取り付け

安全上のご注意	3
取付用部品一覧	6
取り付けについて	8
■作業時の留意点	8
■作業が終わったら	8
ナビゲーションシステムの取り付け	10
■ナビゲーションシステム本体の取り付け	10
■GPSアンテナの取り付け	12
■リモコン受光部の取り付け	13
■ビーコンアンテナの取り付け	14

接続

TVモニターの接続（HDZ-2500iSを単品でお買い上げの場合）	16
■ケンウッド製TVモニターを使用する場合	16
■ケンウッド製以外のテレビを使用する場合	16
周辺機器の接続	18
電源の接続	20
オプション機器の接続	22
■携帯電話の接続	22
■ETCユニットの接続	22
■ココセコムインターフェースユニットの接続	23

◎ETCユニットETC-2200、ボイスコントロールマイクKNA-VM2300、およびココセコムインターフェースユニットをご利用のお客様へ

これらの機器のご利用に際し、ナビゲーションシステムとの接続、車への取り付けかたおよび電源の接続については、それぞれの機器の取付説明書をご覧ください。

絵表示について

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

⚠ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

📌 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



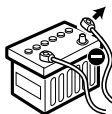
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



実施

バッテリー電源(黄)を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量(5A)以上あることを確認してください。また、本機の他にTVモニターなどを接続する場合は、車両側電源のヒューズ容量は、それらの総ヒューズ容量以上が必要です。

車両側電源のヒューズ容量が不足する場合は、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



注意

カーペットを切ったり車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ・ヘッドランプ・ウィンカー・ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

本製品または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一〈異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど〉異常がございましたら、直ちに使用を中止し、必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず〈お買い上げの販売店〉、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。

注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。



禁止

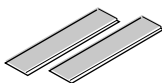
本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

取付用部品一覧

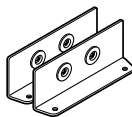
取り付け作業を始める前に、
以下の部品が揃っていることを確認してください。



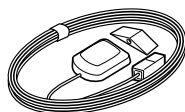
① ナビゲーションシステム
本体……………1



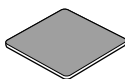
② マジックテープ……………2



③ ブラケット……………2



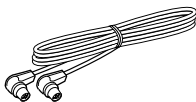
④ GPS アンテナ (5m) ……1
⑤ GPS アンテナ用
防水パッド……………1



⑥ GPS アンテナ用
プレート……………1

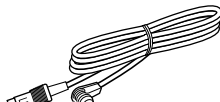
※ HDZ-2500iS

※ HDZ-2570iTS



(5.5m)

⑦ TV モニター用インターフェースケーブル
……………1



(4m)

※ HDZ-2500iS のみ



⑧ リモコン受光部
(6m) ……1
⑨ 両面テープ……………1

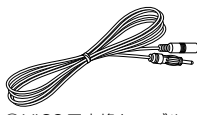


⑩ 電源ハーネス……………1



⑪ 中継コネクタ……………3

※ HDZ-2500iS のみ



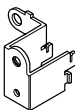
⑫ VICS 用変換ケーブル
(ミニ⇄JASO, 1.5m)
……………1



⑬ セムスネジ
(M4 × 8mm) ……1



⑭ タッピングネジ
(φ5 × 20mm) ……4



⑮ 背面金具……………1



⑯ サラネジ
(M5 × 7mm) ……4



⑰ トラスネジ
(M5 × 6mm) ……4



⑮ ビーコンアンテナ (7m)
.....1



⑯ ビーコンアンテナ
角度調整治具.....1



⑳ ビーコンアンテナ
取付金具(10°)1



㉑ ビーコンアンテナ
取付金具(20°)1



㉒ 両面テープA.....1



㉓ 両面テープB.....1



㉔ 両面テープC.....1



㉕ コードクランプ.....1

取り付けについて

■作業時の留意点

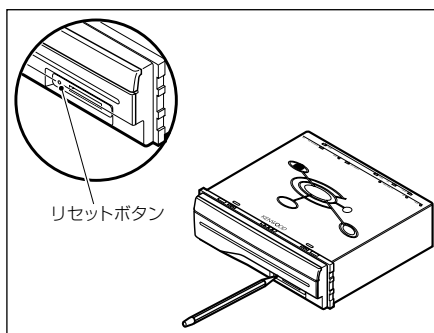
- ノーマルサイズのケンウッド製タッチパネルTVを接続してもタッチパネル操作はできません。
- 各ユニットとも、次のような場所には取り付けないでください。
 - ✓ 直射日光やエアコンの送風が当る場所・水のかかる場所・高温になる場所
 - ✓ しっかりと固定できない場所
 - ✓ グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ナビゲーションシステム本体は風通しの良い場所に取り付けてください。通気性の悪い場所に取り付けると、内部の温度が高くなり故障や誤動作の原因となります。
- 取り付けが終了するまでは本体の電源を入れないでください。
- ナビゲーションシステムはしっかりと取り付けてください。
- 本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。

■作業が終わったら

取り付け・接続が完了したら、以下の作業が必要です。

◎ナビゲーションシステム本体のリセット

1. 配線に間違いがないか確認します。
2. 車両のエンジンをかけます。
3. ペンの先などを用い、ナビゲーションシステム本体のリセットボタンを押します。



◎車速パルスの学習

1. GPS 情報が受信されている(画面にGPS マークが表示されます)ことを確認します。
2. メニューの接続確認機能でパルス情報がカウントされていることを確認します。
3. 時速40km/h以上で、10km以上走行します。

MEMO

- 障害物（建物・街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ナビゲーションシステムの自車マークの位置は、車速パルスの学習が完了するまで、実際と大きく異なることがあります。
- GPS 情報を受信していない状態で走行を始めると、正しい位置に表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ナビゲーションシステムの自車マークは、プログラム読み込み後から現在地図が表示されるまでの間に、ナビゲーションシステム本体を動かすと正しく表示されないことがあります。このようなときは、電源を入れ直してください。
- 取り付ける車種によっては車速パルスの設定が必要です。メニューの車速パルス設定機能で設定してください。

ナビゲーションシステムの取り付け

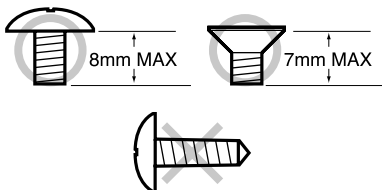
■ナビゲーションシステム本体の取り付け

ナビゲーションシステム本体（以下「本体」）の取り付け方法には3通りあります。マジックテープでパイルカーペットに留める簡易的な方法、オーディオボード（市販品）などにネジ留めする方法、とコンソールに取り付ける方法です。



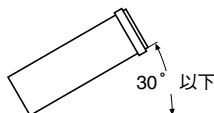
注意

必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、ブラケットまたは車両のブラケットなどから本体が外れることがあります。



実施

本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。
30°以上の角度で取り付けるとジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。



＜ナビゲーションシステム本体の取り付け位置について＞

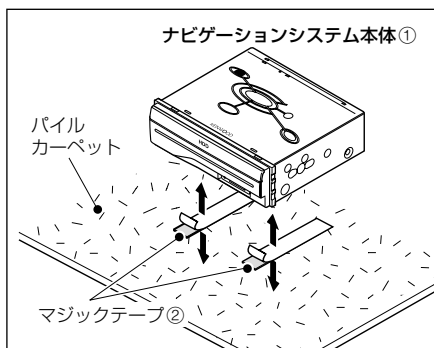
- 本体背面には各種接続端子があります。本体背面側には、ケーブルを接続するためのスペースを確保しておいてください。
- ナビゲーションシステム本体の上に物を置かないようにしてください。本機の故障の原因となります。
- ナビゲーションシステム本体とTVチューナーユニットは重ねて設置しないでください。

——マジックテープを使う場合——

1. マジックテープ②のはくり紙をはがし、本体①の底面に貼ります。
2. マジックテープ面を下にして本体①をパイルカーペット等に押し付け、固定します。

MEMO

- この取り付け方は簡易的な方法です。振動の影響で動作に問題が生じる場合はタッピングネジ⑭を使って取り付けてください。





—— ネジ留めする場合 ——



注意

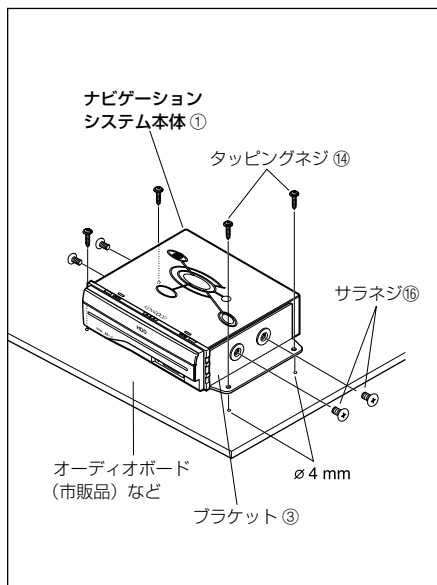
車体に穴をあける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

ケーブルやパイプを傷つけると事故や故障の原因になります。

1. サラネジ^⑩を用い、本体側面にブラケット^③を取り付けます。
2. タッピングネジ^⑭を用い、ブラケット^③を車両のオーディオボード（市販品）などに固定します。

MEMO

- サラネジ^⑩は、最初は仮留め程度にとどめておき、車両に取り付けてから締めてください。



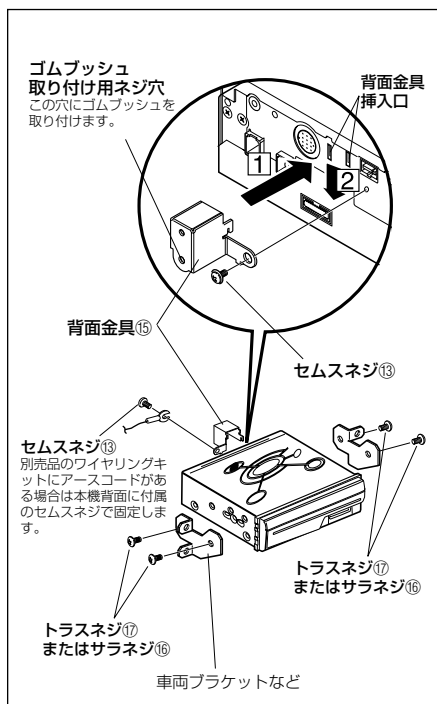
—— コンソールに取り付ける場合 ——

サラネジ^⑩またはトラスネジ^⑰を用い、車両ブラケットなどに取り付けます。

マツダ車等、取り付けにゴムブッシュが必要な車種では背面金具^⑮が必要です。

以下の要領で背面金具^⑮を取り付けます。

1. 背面金具挿入口に背面金具^⑮を差し込みます。
2. 背面金具を下に押し下げます。
3. セムスネジ^⑬を用い、固定します。



ナビゲーションシステムの取り付け（続き）

■ GPS アンテナの取り付け

〈GPSアンテナの取り付け位置について〉

- GPS アンテナは、車内と車外のどちらにも設置できますが、どちらの場合も GPS 衛星の電波を受信しやすいように**できるだけ水平**に取り付けてください。
- 車内への取り付けでは GPS 衛星の受信状態が車外に比べて悪くなります。車種によっては GPS 衛星の電波を受信できないこともありますので、**車外への設置をお勧めします**。
- GPS アンテナおよび GPS アンテナのコードは、携帯電話や無線機などの**電気・電子機器から 30cm 以上離れた位置**に取り付けてください。GPS 衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPS 衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、GPS アンテナを移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。



注意

- GPS アンテナ裏面のテープは取り外さないでください。テープがはがれると、防水効果が低下し GPS アンテナの故障原因になります。

—— 車外に取り付ける場合 ——

GPS アンテナには磁石が内蔵されています。トランクリッドに磁力で吸着させます。

1. GPS アンテナ用防水パッド⑤をトランクルームの防水ゴムと当たる場所に貼り付けます。
2. GPS アンテナ④のコードをトランクリッドからトランクルームに引き込みます。

MEMO

- GPS アンテナ用防水パッド⑤を取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。
- 防水および GPS アンテナコード断線防止のため、GPS アンテナ用防水パッド⑤を使用して取り付けてください。





—— 車内に取付ける場合 ——

GPS衛星の電波を受信しやすいようにリアトレイ中央のガラス面に近いところに取り付けます。

1. GPSアンテナ用プレート⑥のはくり紙をはがして設置場所に貼り付けます。
2. GPSアンテナ④をGPSアンテナ用プレート⑥の上に置きます。

MEMO

- GPSアンテナ用プレート⑥を使用しないと受信感度が落ちることがあります。
- GPSアンテナ用プレート⑥を取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。



■ リモコン受光部の取り付け

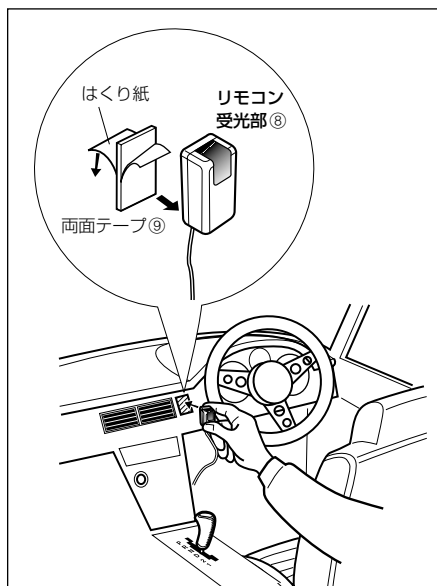
ケンウッド製以外のTVをモニターとして使用する場合には、下記の要領でリモコン受光部を取り付けてください。

※ケンウッド製TVには受光部が内蔵されているため、取り付ける必要はありません。

1. 両面テープ⑨のはくり紙をはがしリモコン受光部⑧の背面に貼ります。
2. 取り付ける場所の油汚れなどをきれいに拭き取り、リモコン受光部⑧を貼り付けます。

MEMO

- 取り付ける面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。
- 直射日光の当たる場所やTVモニターの近くは、リモコンの信号が受信されにくいので、避けてください。

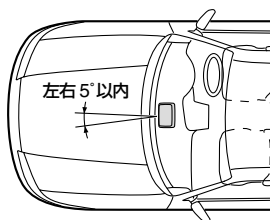


ナビゲーションシステムの取り付け (続き)

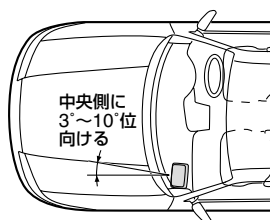
■ビーコンアンテナの取り付け(1) — 取り付け位置を決める

〈レイアウト例〉

— ダッシュボードの中央への取り付け —
車両前方に対し左右5°以内を向くように取り付けます。



— ダッシュボードの左側への取り付け —
車両前方に対し少し中央側に、左右3°～10°以内を向くように取り付けます。

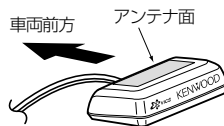


- 金属コーティングフロントガラス装着車の場合、電波ビーコンが受信できないことがあります。
- ビーコンアンテナは防水タイプではありませんので、車外には設置することはできません。



注意

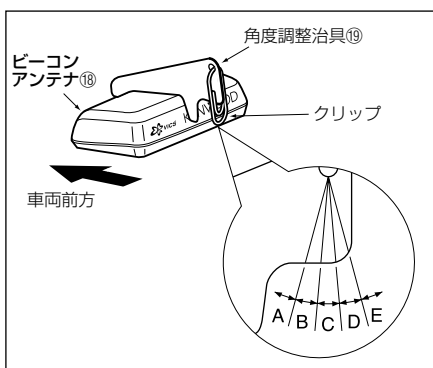
- ビーコンからの信号を正常に受信するため、以下の点にご注意ください。
 - ✓ アンテナ面が車両前方に向くこと（横や逆方向を向かないこと）。
 - ✓ フロントダッシュボード上で、運転の妨げにならず外から見える場所であること。
 - ✓ 前方から見て、ステッカーなどで隠れないこと。
 - ✓ ワイパーの払拭範囲に入ること。
- エアバッグ装置の上または動作の妨げになる位置には取り付けないでください。
- GPS アンテナから20cm以上離してください。
- しっかりと固定できない場所やエアコンの吹き出し口付近には取り付けないでください。
- 両面テープ、コードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し、はがれると事故の原因になります。



■ビーコンアンテナの取り付け(2) — 取り付け方法を決める

信号の正常な受信のため、ビーコンアンテナは水平に取り付ける必要があります。付属品のビーコンアンテナ角度調整治具⑨(以下「角度調整治具」)を用い、取り付け面の傾斜に応じた取り付け方法を決めます。

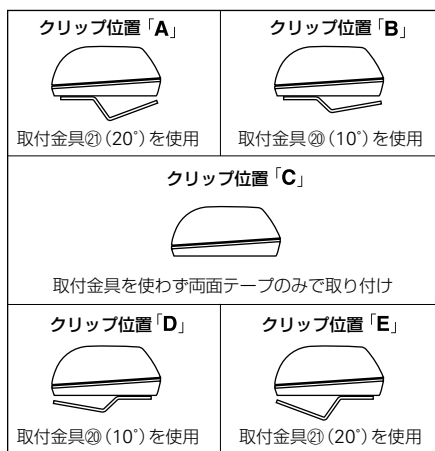
1. ビーコンアンテナ⑩を取り付け面に置いた状態で角度調整治具をあてがい、クリップが示す位置を調べます。



2. クリップの位置（取り付け面の傾斜）に応じた取り付け方法は以下ようになります。

クリップの位置が…

- A: 取付金具㉑(20°)を使用します。→右図「A」
 B: 取付金具㉑(10°)を使用します。→右図「B」
 C: 取付金具を使用しません。→右図「C」
 D: 取付金具㉑(10°)を使用します。→右図「D」
 E: 取付金具㉑(20°)を使用します。→右図「E」



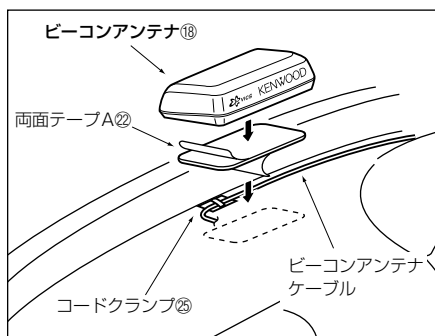
■ ビーコンアンテナの取り付け(3) — 取り付ける

— 角度補正が要らない場合 —

- 両面テープA㉒のはくり紙をはがしビーコンアンテナ⑱に貼り付け、固定します。
- コードクランプ㉕でコードを固定します。

MEMO

- 両面テープやコードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

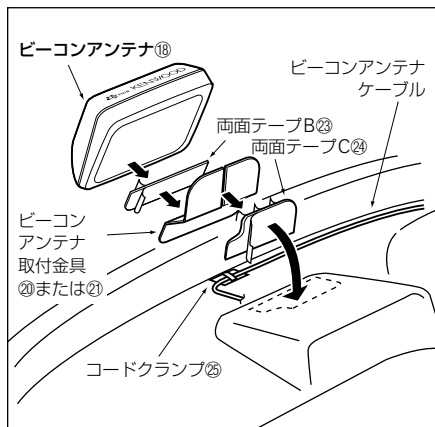


— 角度補正が必要な場合 —

- ビーコンアンテナ取付金具㉑または㉒に、両面テープB㉓、C㉔を貼り、ビーコンアンテナ⑱に貼り付けます。
- ダッシュボード上に仮置きし、角度調整治具⑲のクリップが、「C」の範囲内にあることを確認後、ダッシュボードに貼り付けて固定します。

MEMO

- 両面テープやコードクランプを貼る面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。



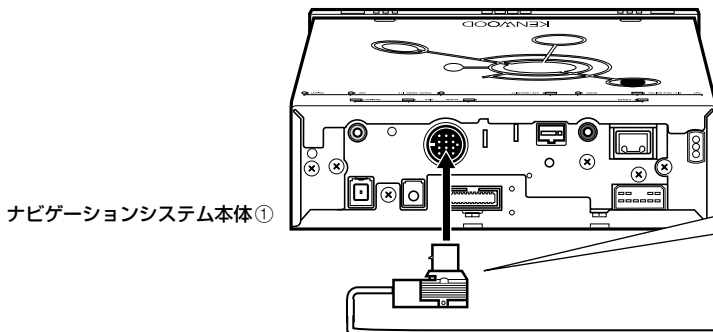
TVモニターの接続 (HDZ-2500iSを単品でお買い上げの場合)

■ケンウッド製TVモニターを使用する場合

ケンウッド製TVモニター (f-LZ77 等) を使用する場合は、本機に付属のTVモニター用インターフェースケーブル⑦を用い、下記のように接続します。

MEMO

- TVモニターの取り付け方法や電源の接続方法は、TVモニターの取付説明書をご覧ください。
- ノーマルサイズのケンウッド製TVモニターを使用する場合は、タッチパネル操作はできません。
- リモコン受光部は当社製TVに内蔵されていますので、取り付けないでください。



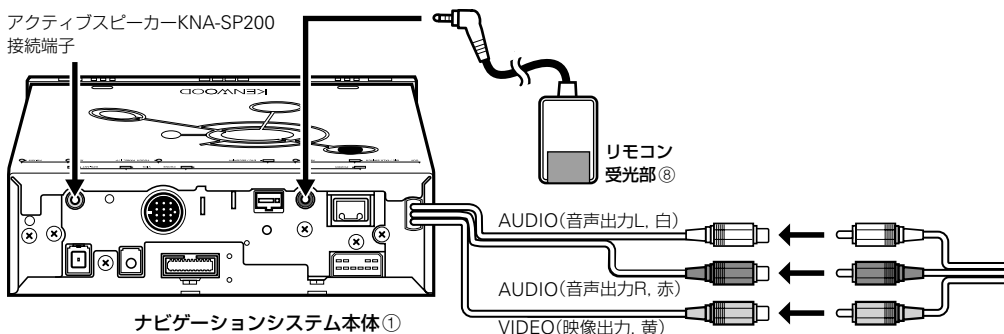
■ケンウッド製以外のテレビを使用する場合

ケンウッド製以外の車載用テレビを使用する場合は、市販のAVケーブルを使用して、下記のように接続します。

MEMO

- この場合、タッチパネル操作はできません。リモコン受光部を接続し、リモコンNA-R700 (別売品) で操作してください。
- テレビにスピーカーが内蔵されていない場合は、音声案内用アンプ内蔵スピーカー KNA-SP200 (別売品) を使用してください。

アクティブスピーカーKNA-SP200
接続端子



TVモニター同梱のシステムバックHDZ-2570iTSを
お買い上げのかたは、TVモニターに付属の取付説明書をご覧ください。

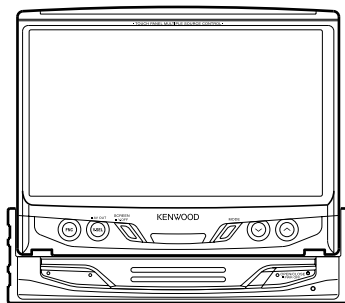
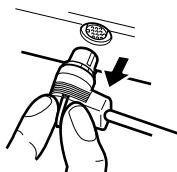
ケンウッド製タッチパネルテレビ (f-LZ77等)



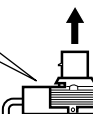
注意

インターフェースケーブルを抜くときは、コネクターのリング部分を持って行ってください。

ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクターが破損する恐れがあります。



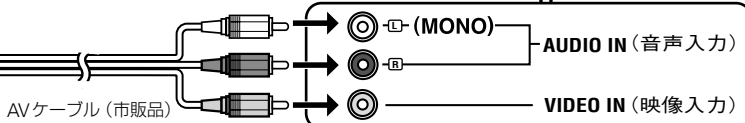
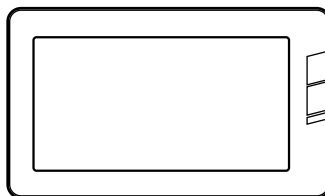
TVモニター用インターフェースケーブル⑦



MEMO

- 音声/映像端子についている保護キャップは取り外します。

車載用テレビ (市販品)

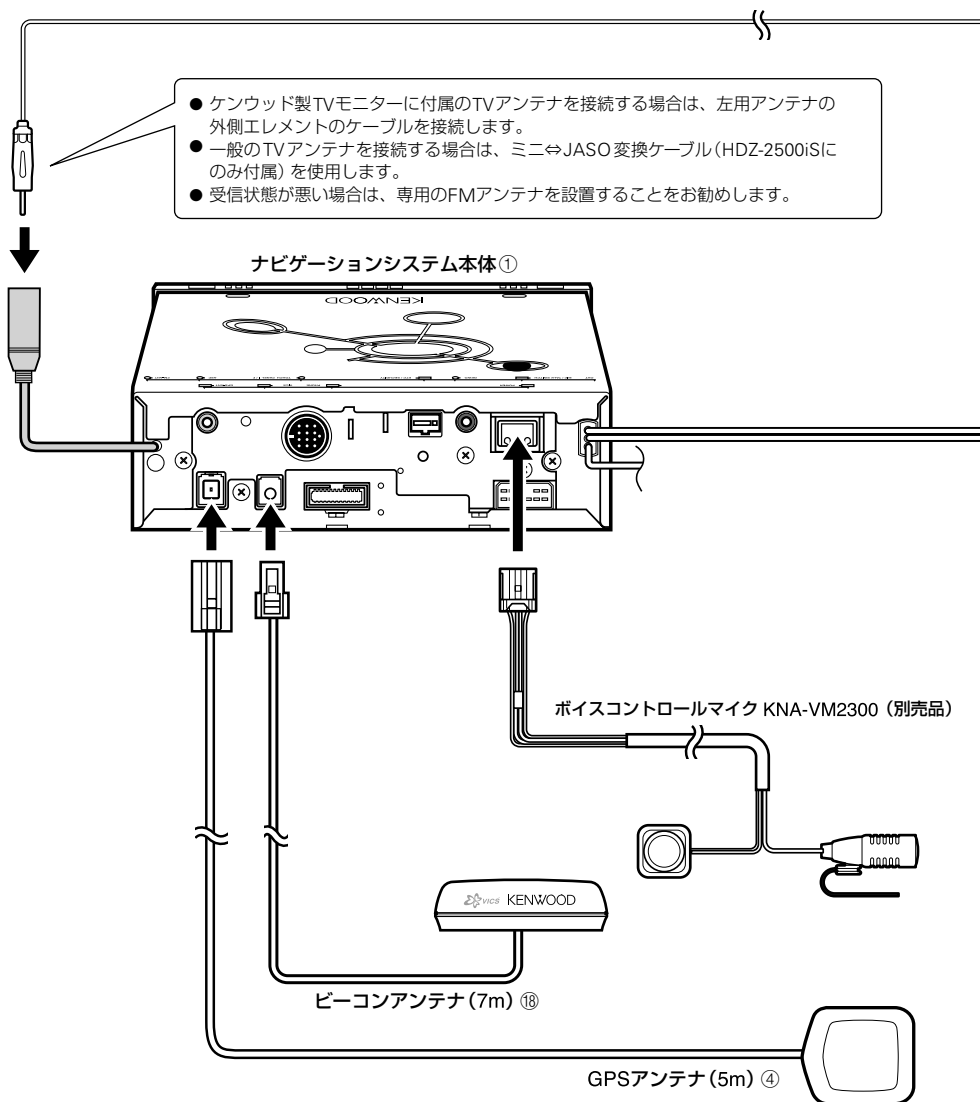


周辺機器の接続

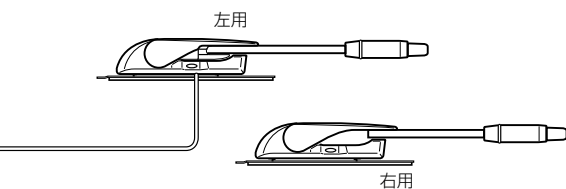
各種周辺機器（GPS アンテナ、ビーコンアンテナ、TV アンテナ、センターユニット）とナビゲーションシステム本体との接続は下図の通りです。

MEMO

- TV モニターの詳しい取り付け・接続方法は、TV モニターの取付説明書をご覧ください。



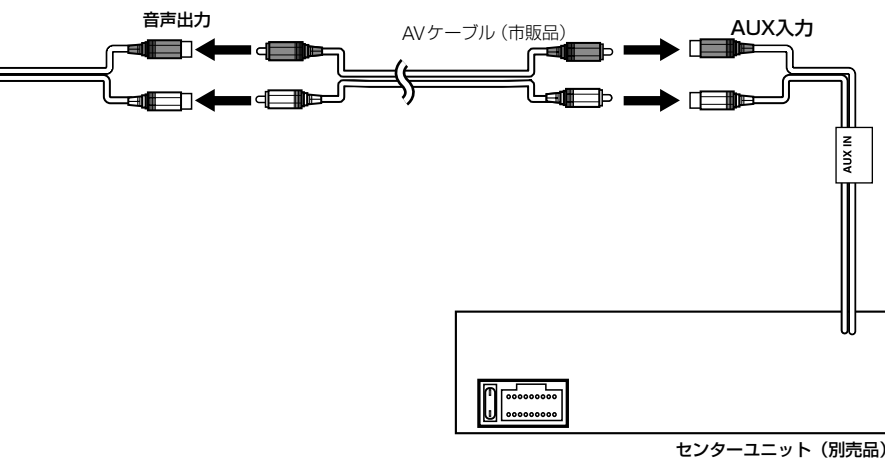
電源については、「電源の接続」
(20ページ)をご覧ください。



TVアンテナ (ケンウッド製TVモニター付属)

MEMO

- 音声端子についている保護キャップ
は取り外します。



電源の接続

1. 電源コードをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
2. 電源ハーネス⑩のプラグをナビゲーションシステム本体①に接続します。
3. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
4. 車両のエンジンをかけて、本体のリセットボタンを押します。



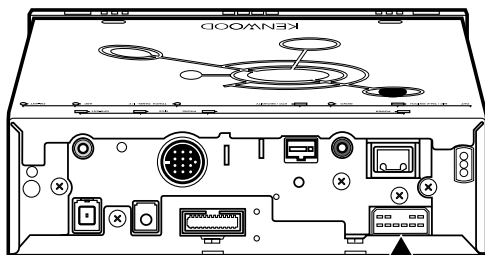
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

実施

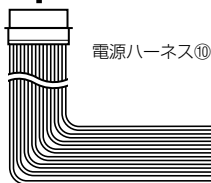


注意

- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 使用しない電源ハーネスのプラグ、拡張端子のキャップは取り外さないでください。



ナビゲーションシステム本体①



電源ハーネス⑩



注意

輸入車など、車両のエンジンキーにACCボジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

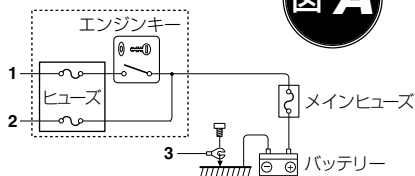
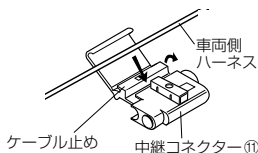


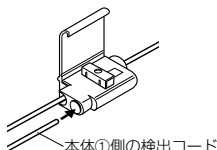
図 A

中継コネクターの使いかた

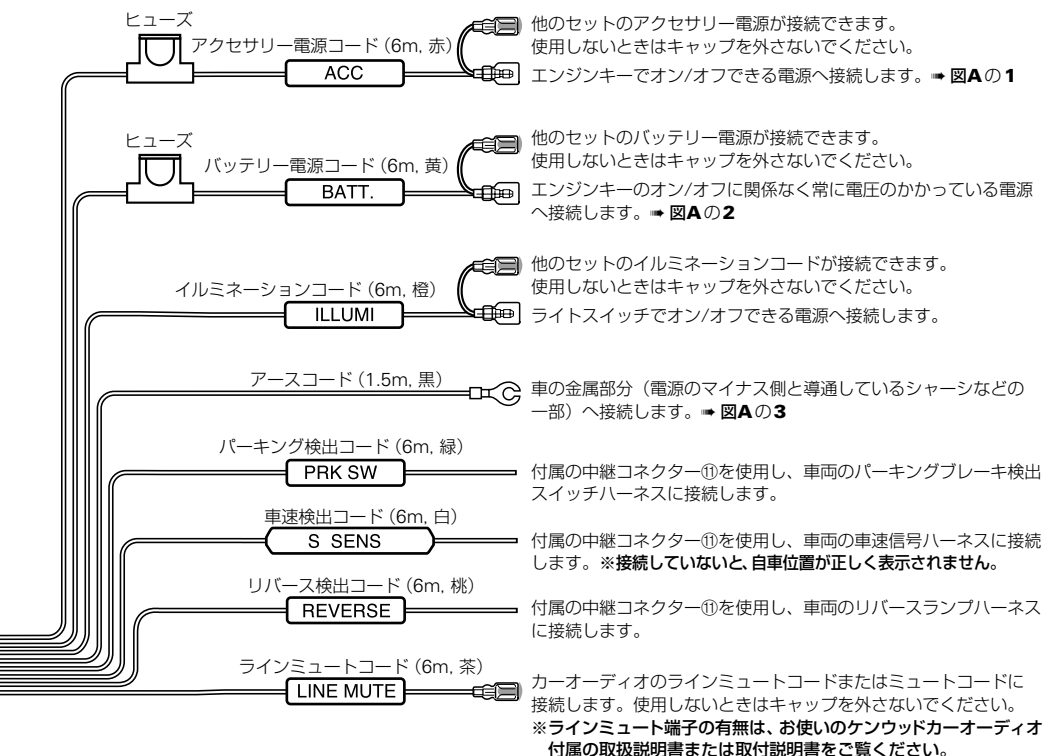
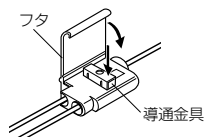
1. 車両側のハーネスを中継コネクター⑪に差し込みます。
2. ケーブル止めをロックします。



3. 本体①側の検出コードを中継コネクター⑪に差し込みます。



4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
5. 最後にフタをロックします。



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



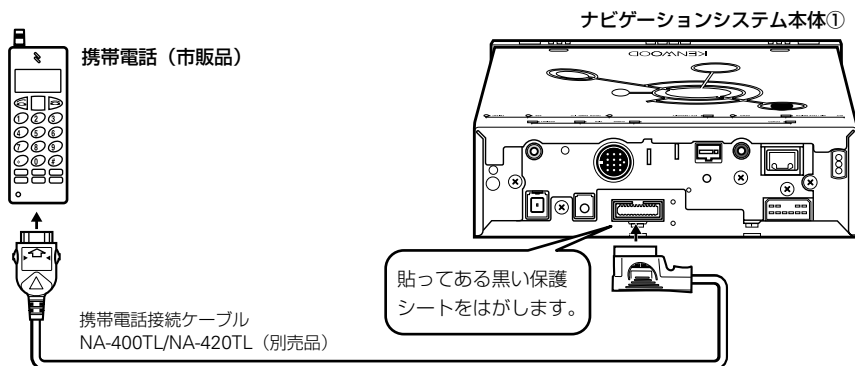
禁止

車速信号検出コードの“S SENS”と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因になります。

オプション機器の接続

■携帯電話の接続

別売品の接続ケーブルNA-400TL(PDCモデル用)、NA-420TL(cdmaOneモデル用)を使用して携帯電話を接続します。



■ETCユニットの接続

別売品のETC-2200を接続することができます。ETC-2200付属のインターフェースケーブルを用います。

※詳しい取り付けかたについては、ETC-2200の取扱説明書をご覧ください。

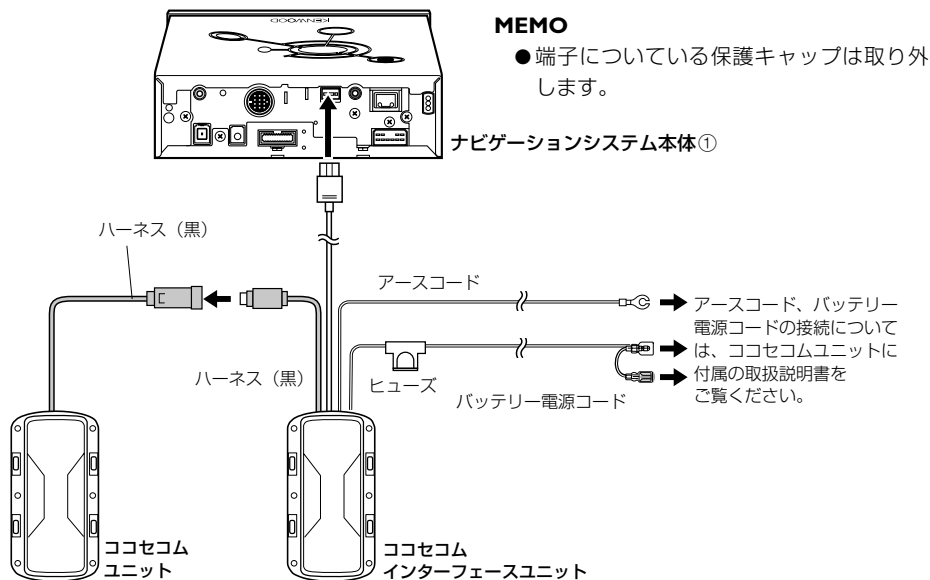
MEMO

- 端子についている保護キャップは取り外します。



■ココセコムインターフェースユニットの接続

別売品のココセコムインターフェースユニットが接続できます。

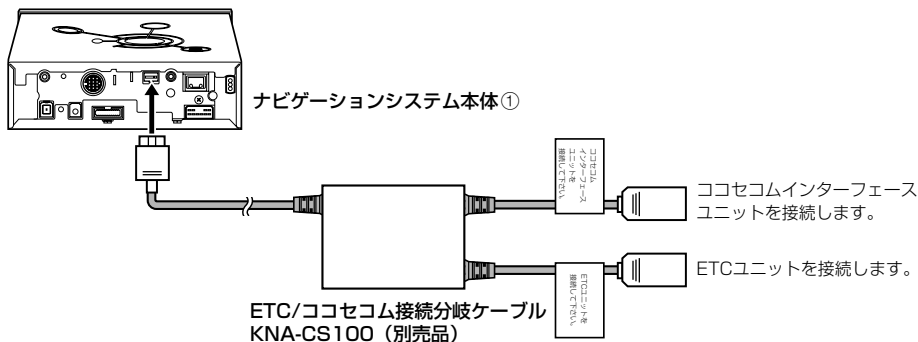


注意

バッテリー上がりにご注意ください。

ココセコムのシステムは、車両のバッテリーを電源として利用しています。車両に搭載しているバッテリーの容量や利用状態・その他の装備品の影響で、車両を運転していない状態が長時間継続すると、車両のバッテリー上がりの原因となることがあります。

別売品のETC/ココセコム接続分岐ケーブルKNA-CS100を使うとETCユニットとココセコムインターフェースユニットを同時に接続することができます。



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。